

### 平成 26 年度 第 1 回 施設見学会

#### 1. はじめに

道央技術士委員会では、恒例の第 1 回施設見学会を 7 月 31 日(木)に実施しました。参加者数は 9 名でした。今回は、

- ・日本高圧コンクリート株式会社 栗山工場
- ・小林酒造株式会社

の 2 箇所を見学しました。

#### 2. 日本高圧コンクリート株式会社栗山工場

##### (1) 栗山工場の概要

日本高圧コンクリート株式会社(本社：札幌)は、プレストレストコンクリート(以下、PC とします)橋の工事や、コンクリート製品の製造・販売を行っている会社です。栗山工場では、多種多様なコンクリート製品を製造しています。



図-1 栗山工場の概要説明  
(説明は、日本高圧コンクリート(株) 西村技術士)

##### (2) 工場見学

最初に、PC コンポ橋の桁製作を見学しました。

これは、現場でコンクリートを打設・製作することが多い橋桁を、あらかじめ工場内で製作し、架橋地点で組立て架設することにより、施工の合理化・

品質の向上を図る工法です。工場から現場までトレーラーで輸送できるように小さく分割して製作しますが、大きい物は約 10m の長さがあります。



図-2 PC コンポ橋の桁製作を見学

工場内では、数多くの製作機械が稼動しており、PC 桁、PC マクラギ、ヒューム管、電柱、建築部材などを製作していました。



図-3 電柱の製作(コンクリート打設前)

日本高圧コンクリートは、昭和 11 年に、北海道コンクリート製品工業(株)として栗山で創業した歴史のある会社です。このため、工場の一部には、古くから使用されている木製のフレームが残っていま

した。機械化が進んだ工場や無機質なコンクリート製品とは対照的な佇まいが、とても印象的でした。



図-4 工場内の木製フレーム

### 3. 小林酒造株式会社

#### (1) 小林酒造の概要

小林酒造株式会社は、明治11年に創業した130年以上の歴史を誇る酒造会社で、明治34年に栗山に工場を移したそうです。北海道に根ざした酒造りと「北の錦」で有名ですが、日本酒造りの様子がよくわかる酒蔵の見学でも良く知られています。

この他にも、レンガ・石造りの建物や昔の住宅・事務所等が数多く残っていて、往時の反映の様子を垣間見ることができます(登録有形文化財に指定)。



図-5 登録有形文化財の標識

#### (2) 酒蔵見学

あいにく、とても蒸し暑い日だったのですが、石造りの酒蔵の中はとても涼しく、快適に見学することができました。また、酒蔵の見学では、小林酒造の職員の方が、丁寧かつユーモアたっぷりに案内をして下さいました。冬ではないので、実際の酒造り

は行われていませんでしたが、珓瑯(ほうろう)のタンクや麴室(むろ)など珍しい物を見学することができて、酒造りの雰囲気十分に味わえました。

この他に、北の錦記念館では、北の錦をはじめとする各種日本酒を販売しています。試飲コーナーもあって、大変好評です。ただし、今回の施設見学会は車で参加者が多かったため、ほとんどの方が試飲できなかったのが、ちょっと残念でした。



図-6 酒蔵入り口の「杉玉」



図-7 六番蔵(検定蔵)

### 4. おわりに

北海道で培われた高い技術と奥深い文化にふれることができた有意義な施設見学会だったと思います。

ご協力いただいた関係各位には心より御礼申し上げます。特に、日本高圧コンクリート株式会社の西村技術士には、当日の説明だけではなく、事前準備・連絡調整まで多岐にわたり、お世話になりました。ありがとうございました。